

日本模擬国連(JMUN)

広報誌



2024





02.
代表挨拶

03-04.
年間活動報告(JMUN)

05.
年間活動報告(全国大会)

06.
年間活動報告(全米団)

07-10.
年間活動報告(事務局/研究会/支部)

代表挨拶

本誌をご覧のみなさま、こんにちは。2024年度日本模擬国連(JMUN)代表を務めておりました、日吉研究会老メン(当時)の大野秀征と申します。

新型コロナウイルス感染症の流行からは早4年、その影響も年々薄まりつつある中で、模擬国連活動も、かつての対面の活発さを取り戻しながら、しかしオンラインでの活動ノウハウも蓄積しつつ、多方面で展開されていくことになりました。

2022年度から始まったこの広報誌も3度目の発行を迎えます。我々JMUN Officeや所属団体の活動をご紹介することで、会員が互いに活動を知るとともに、日頃JMUNをご支援いただいているみなさまに対して、活動の一端をお伝えすることができればと思っております。

世界には新たな脅威が台頭し、活動の基礎たる国連の存在意義が揺らぐ昨今ですが、そんな今だからこそ模擬国連の活動が灯火を絶やすことなく、そして多くの人を巻き込んで発展していくことを願ってやみません。今後とも模擬国連ならびにJMUNをどうぞよろしくお願いいたします。

2024 年度 JMUN代表・大野秀征

年間活動報告（JMUN Office）

目安箱の設置

今年度も目安箱を設置し、JMUN会員の疑問解消や、要望を反映したJMUN Officeの運営のために活用しました。寄せられた意見はJMUN Office内で検討し、回答は月1回を目安として行いました。なお、実際に寄せられた意見・要望に関しましては、JMUN公式X及びInstagramの投稿をご確認ください。

寄付金制度

今年度は昨年度に引き続き、個人寄付金制度を設けました。模擬国連活動のさらなる発展のため、寄付金はJMUN会員の会費削減、全国大会等JMUN主催事業への助成、JMUN Officeの活動支援として活用致します。

オープンチャットの運営

2024年度もLINE オープンチャットを運営しておりました。全国規模大会の広報活動、JMUN開催イベントの周知広報など、研究会・支部の垣根をこえたイベントの広報活動の場として多くの団体にご利用いただきました。

MUNBISNET更新

前年度から引き続き、BGなどを集約するデータベースであるMUNBISNETの更新を進めてまいりました。具体的には、HPの設計の見直しや対応フローの円滑化など、みなさまがより利用しやすいような工夫を重ねております。今後も継続して更新を行い、利用環境を整えていく予定です。

JMUN規約の改訂

2024年度も現在の模擬国連活動の実態に合わせたJMUN規約の改訂を行いました。詳細についてはJMUN HP内の規約をご覧くださいと思いますが、学生のコミュニティとしての円滑な運営に資するようJMUN会員の資格要件を厳格化したほか、JMUN主催事業である模擬国連会議全米大会日本代表団派遣事業(全米団)の応募要件を緩和し、活動への門戸を開くなどの改正を実施し、公布・施行しています。

年間活動報告 (JMUN Office)

講師派遣事業

本年度は以下の通り派遣事業を実施いたしました。

- 都立大泉附属中学校「第10回核不拡散条約再検討会議」(3月14日)
- 県立船橋高等学校「気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)」(3月22日)
- トライ式高等学院大宮キャンパス「気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)」(3月26日)
- 厚木高校及び横浜国際高校「気候変動枠組み条約第28回締約国会議(COP28)」(4月20日)
- 宇都宮文星女子高等学校「安保理改革」(6月9日)
- 学習院女子大学「国連カフェ」(6月10日)
- 光ヶ丘女子高等学校「国連カフェ」(8月1日)
- 昭和学院秀英高等学校「国連カフェ」(8月6日)
- 鳥取県立米子東高等学校「国連カフェ」(10月16日)
- 栃木JIMINIE倶楽部 自然の家みかも(社会人講習)「安保理改革」(11月10日)
- 茨城県立並木中等教育学校「国連公用語」(12月7日)

前年度から実施回数も増え、また前年度から引き続きのご依頼をいただいた団体様もいらっしゃいました。各事業依頼者様方から高評価をいただき、参加者の方々からも「楽しかった」「学びを得た」「またやりたい」など好評のお声をいただきました。お問合せ件数も増加しており、来期も益々「大学模擬国連を事業を通じて広める」活動を活発に行っていく所存です。

外部団体とのイベント共催

外務省をはじめとする外部団体と、講演会やキャリア教育イベントを共催しました。JMUN会員に対し、模擬国連に留まらない様々な機会の提供ができ、参加者からも好評の声をいただいています。今後も外部の団体との連携を通して新しい機会の提供に向け模索して参ります。

公式Instagramアカウント開設

昨今のSNSでの情報収集の傾向を踏まえ、Instagramアカウントを新規開設いたしました。これにより、これまで以上に多くのJMUN会員に情報発信をすることが可能となりました。また、ダイレクトメッセージを通して模擬国連に興味のある方や海外の模擬国連団体等からご連絡をいただいた他、取材依頼もいただくなど様々なご縁がありました。今後も運営を続け、JMUN会員の皆様が情報を得やすい体制を作ってまいります。

年間活動報告（全国大会）

第24回模擬国連会議関西大会(2024年8月19日～21日)

議題:

「核兵器の不拡散に関する条約の起草(NPT)」
「イエルサレム首都宣言」
「武器貿易条約(ATT)」
「コソボ情勢」
「平和維持活動の問題全体に関するあらゆる側面からの包括的な再検討」
「リスボン条約」
「文化の多様性に関する世界宣言」

コメント:

コロナ明けから築かれた基盤を安定させることが今年の事務局に課された課題でした。それに加え、弁当配布やお菓子デリバリーなどの企画やその他の仕事においても参加者の快適さを目指しました。困難もありましたが、皆様のご協力により無事終えることが出来ました。お力添えいただきました全ての皆様に感謝申し上げます。

(事務総長・上野茜)

第30回九州サマー・セッション(2024年9月9日～12日)

議題:

「国際刑事裁判所ローマ規程の検討」

コメント:

大会コンセプトを意識して大会準備を進めることはもちろん、私たちの代だからできること、ただ引継ぐだけではなく考え続けることや、目的を問いただすことを意識しました。今年は、初めてとなる長崎県で開催したことは高いハードルでしたが、今後の九州サマーセッションにとって有意義な挑戦だったのではないかと思います。また、九州サマーセッションならではのアウトホーム感、メン歴や研究会支部をまたいだ企画、白熱した議論を楽しんでいただけたのではないかと思います。まだまだ事務局として至らない点や改善点が残ります。今後も尽力してまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(事務総長・上原可南子)

第29回模擬国連会議北陸大会(2024年3月5日～8日)

議題:

「侵略の定義」
「ウェストファリア条約」

コメント:

第29回北陸大会では2つの会議を開催しました。20世紀における重大な総会決議である侵略の定義、主権国家誕生の契機となったウェストファリア条約、まったく性質の異なる両会議の中で、参加者一人一人が議論、交渉に真剣に臨むことができた会議となりました。

大会全体として、年度末の全国大会として、1年の振り返りの場と次年度への一歩という意義深いものであったと感じます。

能登半島地震やコロナウイルスの影響を受けつつも、このように開催することができたのは、ひとえに大会関係者の皆様のご理解とご支援によるものです。誠にありがとうございました。

第30回北陸大会も模擬国連における楽しみと学びを提供する場となるよう努めてまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

(事務総長・谷本壮)

第36回模擬国連会議全日本大会(2024年12月27日～30日)

議題:

「国際刑事裁判所の設立に関する国連全権外交使節会議」
「コソボ・クライシス会議」
「西サハラ問題」
「武力紛争において適用される国際人道法の再確認と発展に関する外交会議」
「第3次中東戦争」
「1995年NPT運用検討・延長会議」

コメント:

昨年に引き続きKFCホールでの開催となり、200名を超える方にご参加いただきました。レセプションの日程変更や宿泊の自由化など、より多くの方楽しんでご参加いただける工夫を考えて参りました。今後も皆様からのご意見を参考に、より良い大会を目指して参ります。改めまして、AJMUN36thへのご協力、誠にありがとうございました。AJMUN37thへも変わらぬご愛顧をどうぞよろしくお願いいたします。

(事務総長・坪内志栞)

年間活動報告（全米団）

模擬国連会議全米大会第41代日本代表団派遣事業

【2024年】

- ・事業報告会(6月8日)
- ・新歓説明会(7月12日、16日)
- ・夏の政策立案型日本語会議(8月10日)
- ・夏の政策立案型英語会議(8月15日)
- ・選考プロセス(8月23日～10月25日)
- ・第42代派遣団員発表(10月25日)
- ・第1回団員育成プログラム(11月2～3日)
- ・第2回団員育成プログラム(11月30日～12月1日)

【2025年(予定)】

- ・第3回団員育成プログラム(1月11～12日)
- ・第4回団員育成プログラム(2月1～2日)
- ・政策発表会(2月1日)
- ・第5回団員育成プログラム(3月1～2日)
- ・第6回団員育成プログラム(3月8～9日)
- ・渡米プログラム(3月26日～4月12日)
- ・全米大会(4月6～10日)
- ・春の政策立案型日本語会議(4月12日)
- ・春の政策立案型英語会議(4月13日)
- ・第7回団員育成プログラム(4月19～20日)
- ・新歓説明会(3月、4月、5月)
- ・パネルディスカッション(4月、5月)

コメント:

模擬国連会議全米大会日本代表団派遣事業第42代運営局(略称:全米団)は、2024年6月に代替わりを行い、第42代運営局として始動いたしました。夏には政策立案型会議を日本語英語両言語で1日ずつ開催し、その後選考プロセスを実施いたしました。そして約2か月にわたる選考プロセスを経て、10月25日に9名の第42代派遣団員を選出しました。11月以降は、毎月団員育成プログラムを実施し、日々派遣団員の成長を実感しております。

これらの活動が実現できるのも、ひとえに皆様のご支援のおかげです。全米団の長い歴史や皆様からの温かい応援を日々感じております。この場を借りて、改めて心より御礼申し上げます。

2025年2月1日には、派遣団員が数か月かけて立案した政策を発表する「政策発表会」を開催し、3月26日から4月12日には待望の渡米プログラムが予定されています。今後の活動にもぜひご注目いただけますと幸いです。

引き続き、全米団へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(運営統括/団長・藤原碧海)

年間活動報告（事務局/研究会/支部）

東日本事務局

開催会議及びイベント

- ・ 春の東日本総会(4月29日)
- ・ 五研春一会議「中学校におけるスマホ規制」(5月5日/国立オリンピック記念青少年総合センター)
- ・ 夏の臨時東日本総会(7月14日)
- ・ 五研新メン会議「リビア情勢/COP21/ナショナルマイノリティの権利」(9月29日/国立オリンピック記念青少年総合センター)
- ・ 五研BBQ企画(10月13日/THE BEACH in TOYOSU)
- ・ 五研OBOG会(10月26日/渋谷ガーデンパティオ)
- ・ 秋の臨時東日本総会(11月4日)
- ・ 五研運動会(11月10日/MIFA Football Park 立川)
- ・ 冬の東日本総会(12月14日)

コメント:

今年は新たな企画、事務局規約の改正、膨大な事務局予算の使途など、改革に向けて様々な挑戦を行いました。一年間、円滑な運営にご協力いただき有難うございました。

(事務局長・水越萌巴)

国立研究会

開催会議:

- ・ 強化会議「北大西洋条約」(2月20日～22日)
- ・ 春の一日体験会議「安全保障理事会改革」(4月27日～28日)
- ・ 新歓会議「死刑執行モラトリアム」(5月18日～19日)
- ・ 前期会議「サンフランシスコ会議～国際連合憲章策定における諸問題の検討～」(6月22日～23日)
- ・ 秋会議「世界貿易機関を設立するマラケシュ協定附属書1c TRIPS協定」(10月5日～6日)
- ・ 後期会議「ダルフール情勢」(12月7日～8日)

コメント:

今年度の研究会会議はメン齢や研究会の垣根を超えて多くの方々に参加していただきました。様々な形で会議に携わっていただいたもぎこっかーの皆様はこの場をお借りして御礼申し上げます。次年度も皆様には、さらに成長していく国立研究会を是非ともよろしく願いいたします。

(会長・永水大智)

駒場研究会

開催会議:

- ・ 強化会議「新連邦条約「ソ連崩壊」」(2月29日～3月1日)
- ・ 春の1日会議「平和のための結集」(4月21日)
- ・ 新歓会議「植民地独立付与宣言」(5月25～26日)
- ・ 前期会議「マスメディア宣言」(6月22～23日)
- ・ 秋会議「クリミア情勢」(9月19～20日)
- ・ 駒場新メン会議「海洋プラスチック」(10月19～20日)
- ・ 後期会議「ルワンダ情勢」(11月16～17日)

コメント:

同期や先輩の皆様を支えられた一年間でした。マクロの追い風もありましたが、新歓期には大幅な会員増を達成し、運営代としての義務を果たせて満足しています。例年に比べて新歓期の議題は難化した一方、秋冬の議題は易化したと思います。今後も駒場研究会をよろしく願いします。

(会長・油井虎之介)

年間活動報告（事務局/研究会/支部）

日吉研究会

開催会議：

- ・強化会議「平和維持活動に関する特別委員会」(2月28日～3月1日)
- ・春の1日会議「気候変動に関する国際連合枠組条約第3回締約国会議」(4月13日～14日)
- ・新歓会議「安保理改革」(5月18日～19日)
- ・前期会議「南極の鉱物資源活動規制に関する条約の採択」(7月6日～7日)
- ・秋会議「コンゴ動乱」(9月21日～22日)
- ・後期会議「宇宙空間における軍備競争の防止」(11月23日～24日)

コメント：

日吉研究会は、今年1年、以上の会議を実施いたしました。会議監督を中心とするフロント一同が意欲的に会議を作り、デリが一生懸命会議に取り組んだ1年でした。来年は新たに30期が日吉研究会を作り上げていく番となります。今後とも温かいご支援のほどよろしく願いいたします。1年間ありがとうございました。

(会長・鈴木帆乃佳)

四ツ谷研究会

開催会議：

- ・強化会議「南ローデシア情勢」(3月9日～10日)
- ・春の1日体験会議「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」(4月13日～14日)
- ・新歓会議「ウクライナの領土保全」(5月18日～19日)
- ・前期会議「新国際経済秩序樹立に関する宣言」(6月29日～30日)
- ・葉月会議「気候変動枠組条約第3回締約国会議」(8月10日～11日)
- ・後期会議「自律型致死兵器システムの規制」(11月23日～24日)

コメント：

今年度も四ツ谷研究会は多くの会議や企画を行ってまいりました。同期だけでなく先輩や後輩、OBOGやJMUN会員の皆様に支えられたおかげで運営を終えました。来年度は新しく入った43期が運営を行っていきます。引き続き四ツ谷研究会をよろしく願いいたします。今年一年間本当にありがとうございました。

(会長・土方久寛)

早稲田研究会

開催会議：

- ・強化会議「集団殺害罪の防止及び処罰に関する条約」(2月19日、20日)
- ・春の一日体験会議「安全保障理事会改革」(4月7日、21日)
- ・新歓会議「国連移民協定」(5月18日、19日)
- ・前期会議「紛争ダイヤモンド」(6月22日、23日)
- ・秋会議「ルワンダ情勢」(9月21日、22日)
- ・後期会議「Helsinki Final Act-全欧安全保障協力会議-」(11月23日、24日)

コメント：

自分たちが考える模擬国連の”楽しさ”を精一杯表現をすることを目標とした会議が一年を通して行われました。様々な壁も立ちは大変でしたが、運営代である42期をはじめとし、多くの先輩方の助けもあり、最大規模の新メンを迎え入れることができました。

(会長・加悦成晃)

年間活動報告（事務局/研究会/支部）

西日本事務局

開催会議及びイベント:

- ・ 春の西日本総会(2月29日, Zoom)
- ・ プロシージャー講習会(5月27日, 神戸)
- ・ 2研3支部交流立食パーティー(同上)
- ・ BBQ企画(9月18日, 京都)
- ・ 冬の西日本総会(12月2日, Zoom)

コメント:

西日本事務局の1年間の活動を通して2研3支部の交流が活発化し、西日本の模擬国連を盛り上げることができたと感じています。次年度も西日本事務局をよろしく願います。

(事務局長・川西爽登)

京都研究会

開催会議:

- ・ 春会議「死刑執行モラトリアム」(3月2～3日)
- ・ 一日会議「安保理改革」(4月20日)
- ・ オリエンテーション会議「核兵器のない世界に向けた共通のロードマップ構築のための取り組み」(5月11～12日)
- ・ 前期会議「条約法条約」(6月29日, 7月6～7日)
- ・ 新メン会議「シリア情勢」(9月22日, 28～29日)
- ・ 秋会議「シリア情勢」(10月5～6日)
- ・ 後期会議「ウィーン会議」(11月16～17日)

コメント:

企画数の増加、秋会議の再開、各会議の挑戦的な議題設定など、執行部の人数が例年より増加したことを活かした新しい取り組みが目白押しの年になりました。新歓面では新メンの所属大学の偏りも解消でき、大学間の交流も活発になったのではないのでしょうか。これまで受け継がれて来た京都研の魅力を保ちつつ、学術・心的結合の両面で今後の京都研の更なる発展の基盤を築くことが出来ました。京都研の運営にご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。今後とも京都研をよろしく願います。

(会長・小橋口航)

神戸研究会

開催会議:

- ・ 春の1日体験会議「安保理改革」(4月14日)
- ・ オリエンテーション会議「NPT(核不拡散防止条約)再検討会議2010」(5月18日～19日)
- ・ 前期会議「天然資源に対する恒久的主権」(6月29日～30日, 7月6日～7日)
- ・ 秋会議「国連気候変動枠組み条約第26回締約国会議(COP26)」(10月5日～6日)
- ・ 後期会議「不干涉宣言」(11月16日, 23日～24日)
- ・ 冬会議「平和のための結集決議」(2月22日～23日)

コメント:

皆様1年間神戸研へのご支援のほどありがとうございました！
今年1年間で神戸研も大きく変化したと思われま。新メンも多く入ってくれて明るい未来が期待できそうです。今年もどうぞよろしく願います！

(会長・菊池直樹)

年間活動報告（事務局/研究会/支部）

九州支部

開催会議：

- ・ 有志会議「宇宙空間における軍備競争の防止」(2月24日～25日)
- ・ Golden UN Camp「第二次中東戦争」(5月25日～26日)
- ・ 前期会議「中国代表権問題」(7月13日～14日)
- ・ 後期会議「核不拡散条約2015年再検討会議」(11月23日～24日)

コメント：

今年度は多くの新メンに会議や通活等の活動に参加してもらい、九州支部を盛り上げていくことができた年ではないかと感じています。また、運営代のメンバーも自支部の会議だけでなく全国大会や他研究会・支部の会議に足を伸ばして自己研鑽することができ、そこで得た知識や技術を後輩メンに伝えることができたと思います。まだまだ支部員の確保という面では不十分なところではありますが、これから部員も含めた更なる安定化を図っていきたく思います。今年度も九州支部を支えてくださった皆様誠に感謝申し上げます。これからも九州支部よろしく願います。

(支部長:住田蓮)

名古屋支部

開催会議：

- ・ 春一会議「NPT～18か国軍縮委員会～」(4月7日)
- ・ 新歓会議「パレスチナにおける将来の統治形態」(5月3日～4日)
- ・ 前期会議「第15回気候変動枠組み条約締約国会議(COP15)」(7月6日～7日)
- ・ 後期会議「国際人権規約」(11月30日～12月1日)

コメント：

はじめに、昨年度も名古屋支部の活動を支えてくださった皆様に、厚く御礼申し上げます。昨年度は、さらに新メンの数が増え、どの会議や通活も活発で大変充実したものとなりました。支部の次へのステージに繋がる一年になったのではないのでしょうか？今年度も、より一層の成長をお届けできるよう全力で取り組んで参ります。引き続き名古屋支部をよろしくお願いいたします！

(支部長:花井弦季)

北陸支部

開催会議：

- ・ 春会議「カンボジア情勢」(3月26日～27日)
- ・ 春の一日会議「安保理改革」(4月20日)
- ・ 新歓会議「パリ協定の採択」(5月11日)
- ・ 前期会議「シリア情勢」(7月6日～7日)
- ・ 秋会議「平和のための結集」(10月26日～27日)
- ・ 後期会議「国連総会首脳会合成果文書における保護する責任の検討」(12月7日～8日)

コメント：

2024年は年6回の会議を開催しました。どの会議も非常に実りのあるもので、新メン達の積極的な姿勢に運営代一同、驚かされるばかりでした。

また、様々な支部・研究会から多くの方々に参加して頂いたことによって、会議が盛り上がり、支部員全体の意欲向上に繋がりました。この場をお借りして、御礼申し上げます。2025年も、北陸支部をどうぞよろしくお願いいたします。

(支部長:谷本壮)

個人協賛金寄付者のご芳名

窪嶋 優希 様

皆様の温かいご支援にJMUN会員一同深く御礼申し上げます。
今後ともJMUNをどうぞ宜しくお願いいたします。

編集後記

多くの方々のご協力をいただきながら、「日本模擬国連 広報誌 2024」を無事に発行することができ、大変うれしく思います。今年度も、JMUN Officeを始め、多くの大会や研究会・支部等で模擬国連を盛り上げるための試みがなされました。今後も、蓄積されてきたノウハウを活かしつつ、新しい風を取り入れて模擬国連活動が発展していくことを願います。

今号の発行にあたり、寄稿して下さった皆様に、心より感謝申し上げます。

連絡先

日本模擬国連代表部

代表：president@jmun.org

渉外：externals.jmun@gmail.com（協賛金に関するお問い合わせ）

事業：project.jmun@gmail.com（講師派遣事業に関するお問い合わせ）

ホームページ・SNS

ホームページ：http://jmun.org/

X (旧Twitter)：https://x.com/JMUN_Official

Instagram：https://www.instagram.com/jmun_official/

Facebook：https://m.facebook.com/profile.php?v=feed&id=15870005419623